



六中だより

～学校教育目標～

“ 学力と情操 ”

“ 健康と忍耐力 ”

“ 勤労と責任 ”

生徒のみなさんへ (1月6日 始業式 講話)

校長 黒沼正彦

3学期が始まりました。みなさんあけましておめでとうございます。

新しい年の初めにすがすがしい気持ちになるお話をしたかったのですが、世の中はそういう状況ではないようです。残念ながら、新型コロナウイルスの感染は収まらず、4日に一都三県の知事から1月8日から31日まで午後8時以降の不要不急の外出を控えるなどの緊急事態行動が出されました。7日には国の緊急事態宣言も出されるということです。このままでは重症患者が増え、医療がマヒしてしまう。それを防ぐためになんとか感染拡大をみんなで協力して防がなくてはいけないという施策です。

学校では授業は行われますが、いままで以上の感染防止のための行動をとらなくてはなりません。相当な覚悟が必要です。

今日の始業式も、しばらくの間全校で集まる行事はやらないこととし、放送で行っています。1月に予定していた2年生、1年生の校外学習も非常に残念ではありますが、一度実施を見送ります。3月にあらためて実施できないか、その可能性を探っていくことになりました。

それ以外にも、感染拡大を防ぐために、今までできていたりできると思っていたことが、しばらくできなくなる可能性があります。正式に決まってから皆さんにお知らせしますが、このようなことは生徒の皆さんにとって、本当につらいことだと思っています。皆さんの気持ちを考えるといたたまれない気持ちです。

有難いという言葉があります。「自分にとってうれしい」という意味で使われますが、字をよく見るとわかるのですが、本来は「あることがほとんどない」、「めったにない」という意味なのです。めったにないことがおこるとびっくりしたり困ったりしますが、実は、そのことから今後の自分や自分たちのために役立つモノの見方や考え方をたくさん発見できます。そういう発想で何か困ったことがあったら前向きにとらえ、改善方法を見つけていくこともできるという、発想を転換してプラスに考えるという知恵が詰まった言葉なのです。

大変ですが、こういう時は思い通りにならないことをあえて「有難い」こととして、私たち人類が未来に向けてどう力を合わせていけばよいかを、みんなで謙虚に学んでいくしかないと私は考えるようにしています。

みんなが笑顔を忘れず、元気よくあいさつもして、ふつうの日常に一日でも早く戻れることを期待しながら、有難いという言葉をかみしめ、日ごろのあたりまえの大切さを実感し、身の回りの人への感謝の気持ちを忘れず、誰かのために力を惜しまず、六中みんなで力を合わせて行動していきましょう。



～季節を探しに～

玄関そば 花壇にて
チューリップの芽が出ているのを見つけた生徒たち



～書き初め 掲示中～

冬休みの宿題にて取り組んだ書き初めを、各教室にて掲示しています。

色々なイベントの自粛が続いているこのごろですが、書き初めの掲示をみるとお正月らしさが出ているのではと思います。



1年生教室



2年生教室



3年生教室

～外壁工事 終了～



外壁工事 囲い等
撤去直前



外壁工事ほぼ終了
コーティング
された床面

4月より着工していた武道場・アリーナ棟 外壁工事が終わりました。

地下・アリーナ棟に接している床面等も雨水浸透を防ぐためのコーティングが施されたところです。

近隣のみなさまには騒音等ご迷惑をおかけしました。ご理解・ご協力ありがとうございました。

2月の主な予定

2日(火) 中央委員会 都立推薦入試発表	17日(水) 全校朝礼(放送) 校内研修会
3日(水) 職員連絡会	21日(日) 都立一般入試
4日(木) 専門委員会	23日(水) 天皇誕生日
5日(金) 避難訓練	24日(水) 期末テスト1日目 (数・英・音)
6日(土) 土曜授業日(非公開)	25日(木) 期末テスト2日目 (社・美・13年技術)
8日(月) 巡回相談日	23年家庭)
9日(火) 安全指導日	26日(金) 期末テスト3日目 (国・理・体)
10日(水) 生徒会朝礼(放送) 私立一般入試・発表始	
11日(木) 建国記念の日	

